

2018年1月1日から2023年1月31日に、当院泌尿器科外来を受診された方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：山梨大学医学部附属病院泌尿器科を受診した骨盤臓器脱患者の治療選択と経過

研究期間：研究機関の長の許可日～2023年3月31日

研究責任者：山梨大学大学院総合研究部 看護学講座 教授 谷口珠実

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

骨盤臓器脱はPOP-Q法にというStage分類があり、部位や程度を客観的に評価できます。産婦人科診療ガイドラインによると、症状がある場合は軽症の方に対し骨盤底筋訓練を指導すると言われており、それ以上の方に対し、ペッサリー療法または手術療法を行うとされています。当院泌尿器科に紹介受診をする患者さんは60歳以上の方が多く、手術希望がほとんどですが、手術に加え保存療法という選択肢もご紹介しています。複数ある治療法の中から、ご自分で治療方法を選択することができ、主体的に取り組むことができれば、治療に対する満足感と生活の質が向上するのではないかと考えています。よって、初診時から受診終了時の治療の経過を明らかにすることは、今後、骨盤臓器脱患者さんの望む治療方法について検討するための基礎的データになると考えています。

【研究の方法について】

2018年1月～2023年1月までの間に当院泌尿器科外来を受診し、骨盤臓器脱と診断された患者さんの診療録から、紹介初診時～受診終了時にどのような治療が選択されているかを調査します。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

2018年1月～2023年1月までの間に当院泌尿器科外来を受診し、骨盤臓器脱と診断された方

情報：診療録情報

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部健康・生活支援看護学講座の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護

し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究は、山梨大学で管理されている研究費を用いて実施いたします。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学大学院医工農学総合教育部看護学専攻/山梨大学医学部附属病院看護部

看護師 小久保恵理

メールアドレス：ekokubo@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-9839

山梨大学大学院総合研究部 看護学講座

教授 谷口珠実